



J R 九州労組

春闘情報

2018年
2月25日
No. 5

九州旅客鉄道労働組合
業務部
発行責任者 中原 博徳
編集責任者 宮路 享

ベア獲得へ気運高まる

底上げ・底支え 格差是正に結びつく成果を

＝JR連合九州地協が決起集会＝

J R連合九州地方協議会（九州地協）は2月25日、福岡市で「2018 春季生活闘争勝利！ 総決起集会」を開き、組合員・家族が総がかりとなった春闘をつくりあげ、2018 春闘勝利にむけて、取り組みをさらに強化していくことを参加者全員で確認した。



集会には、九州地協に加盟するJ R九州労組、J R西労組福岡地本、貨物鉄産労九州地区本部、J R九州バス労組の組合員約60名が参加。主催者を代表してあいさつに立った中原博徳議長（J R九州労組中央執行委員長＝写真）は「政府及び経団連は、今春闘においても『官製春闘』による経済の好循環を創り出す演出をしようとしているが、労働者の実質賃金は伸び悩み、個人消費も低迷したままであり、デフレ脱却を最大の眼目とするアベノミクスは破綻していると言わざる

を得ない。闘いはすでに始まっており『官製春闘』と揶揄されようとも、主体的かつ建設的な労使自治に基づく真摯な協議を通じて『底上げ・底支え』『格差是正』に結びつく成果を必ず勝ち取り、今春闘を組合員・家族総がかりで闘っていこう」と、さらなる奮起を促した。

また、来賓として九州交通運輸産業労働組合協議会（九州交運労協）より、越智直樹事務局長（J R九州バス労組出身）から、激励と連帯のあいさつを戴いた後、北村公次 J R連合労働政策部長（J R九州労組選出）から「2018 春季生活闘争の課題」をはじめ「民主化闘争の完遂」について講演を戴いた。

その後、九州地協に結集する各単組の代表から、今春闘に対する力強い決意が述べられ、月例賃金の引き上げや、総合生活改善にむけた労働条件向上をはじめとする集会アピールを採択し、九州地協一丸となって闘い抜くことを確認。最後に中原議長の力のこもった団結ガンバローにより、会場の熱気は春闘勝利にむけ、賃上げムードが一気に高まった。

今春闘においては、J R九州労組が4年連続、J R西労組が5年連続、貨物鉄産労は19年ぶり、J R九州バス労組は2年ぶりのベア獲得をめざしている。

希望の明日へ 想いよ届け 2018春闘勝利